

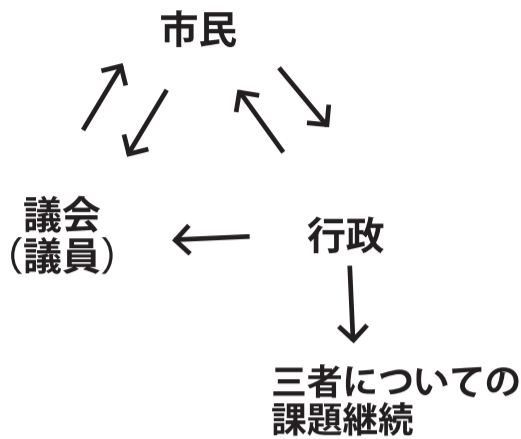
オープン化、わかりやすく
 受け手を意識した発信
 (受け手の情報入手の特性を把握、分析)
 or 表題「園児をもつ親の方へ」
 コミュニティの把握と活用
 (町会、サークル、団体など)
 反応の定期的取得

- ・公開すること、一カ所に集めること
- ・その場所へのアクセスをよくすること
- ・ITを活用すること (アクセス、蓄積)

更新!

- ・お互いに自分がわからないことを聞く、何か考える

- ・webに書き込みページ、チャットページを作る
- ・サロン
- ・市民、行政、議会、全員でのレクリエーション or 部活を作る **→工夫して活用**
- ・テレビ (番組とお知らせ)



- ・与えられる事を待たない (心がまえ)
- ・お互いに公開できる範囲を知っておく
- ・誰が何を知っているのか知っておく。

- ・情報公開をきちんとする
- ・行政の言葉をわかりやすい言葉にする
- ・市民は議員にたよらない

- ・更新できること
- ・誰でも見ることができる
- ・意見の蓄積と反映

- ・web、紙など手段を多く活用する

情報共有の方法 A

主体

定義

役割

責務

市民

野々市市に関わる方々
 住民 学生 企業 各種団体

まちづくりへの
 参画

経費の応分負担

行政

市役所

市民活動のバックアップ

議会

まちづくりの判断

議員

市民の声をひろってつなげる

市長

まちづくりの決断

役割と責務

地方自治法での「住民」を超えて「市民」を
 条例で定義して良いのか？

B

